



令和6年1月の主なイベント情報など

広報広聴・シティプロモーション課

① 令和6年 いわた新春のつどい（賀詞交歓会）

～各分野の代表が一同に介し、新春とともにオール磐田を実感する～

令和6年の年頭にあたり、例年恒例となっている「いわた新春のつどい」が行われます。

各分野を代表される方々が一同に会し、相互に新春を祝うとともに、顔を合わせながらの交流を通じて「オール磐田」を実感・共有していただくことを目的としています。

このつどいは、5団体（磐田市〈R6 幹事団体〉、磐田市商工会、磐田商工会議所、遠州中央農業協同組合、磐田市自治会連合会）が主催団体となり開催します。なお、参加予定者は主催5団体の役員や来賓など約50名です。

令和6年の磐田市幕開けの場です。ぜひ、取材をお願いします。



▲昨年の「いわた新春のつどい」

【令和6年 いわた新春のつどい（賀詞交歓会）】

日時：1月5日（金）13：30～15：00

場所：磐田市民文化会館「かたりあ」（上新屋678-1）

主催：磐田市〈R6 幹事団体〉、磐田市商工会、磐田商工会議所、遠州中央農業協同組合、磐田市自治会連合会

問合せ：秘書課 TEL0538-37-4801

② 令和6年 磐田市「二十歳の集い」（成人式）

～20歳を迎える若者が一堂に会し、再会とともに決意を新たに～

二十歳を迎えた若者を祝い、これからの未来を激励することを目的に、令和6年も「二十歳の集い」を開催します。

成人年齢は18歳に引き下げられましたが、この集いは20歳を対象に若者たちが仲間同士で再会する場として、将来への決意を新たにする節目の場としています。

令和6年の対象者数は1,583人（参加者は過去の実績から約8割の1,300人程度を見込んでいます）で、市内外から多くの若者が参加してくれます。

磐田市の若者の新たなスタートラインです。ぜひ取材をお願いします。

【令和6年 磐田市「二十歳の集い」】

日時：1月7日（日）10：00～11：00

場所：磐田市民文化会館「かたりあ」（上新屋678-1）

問合せ：自治デザイン課 TEL0538-37-4870



▲昨年の「二十歳の集い」

記者・メディアの皆様へ 磐田市のこんな取材はいかがですか？ 磐田市広報からのご提案

磐田市×初日の出×イベント

詳しくは、福田海岸通り発展会 ☎090-7029-4438
豊岡東交流センター ☎0539-62-6669 へ

海で、山で、初日の出を拝む

令和6年も元旦に磐田市の初日の出を拝めるスポットが海と山に設置されます。

海は「福田海岸」。人気漫画「ゆるキャン△」でも取り上げられており、元旦に合わせて設置された朱色の鳥居越しに初日の出を拝むことができます。

山は「獅子ヶ鼻公園」。市内北部の山の上から、元旦に合わせて設置された鳥居越しに初日の出を拝むことができます。

日の出の時間は、どちらのスポットも概ね6時55分頃で、毎年、多くの方が訪れています。ぜひ取材していただければと思います。

【日時】 1月1日（祝）概ね6：55頃

【福田海岸】

《会場》

福田公園野球場（福田中島 3756-43）
東駐車場の南側海岸

《主催》

福田海岸通り発展会（代表 石山芳行）
☎090-7029-4438

【獅子ヶ鼻公園】

《会場》

獅子ヶ鼻公園上駐車場北側（岩室 199-1）

《主催》

豊岡東地域づくり協議会、初日の出実行委員会
☎0539-62-6669（豊岡東交流センター）



▲「福田海岸」の初日の出



▲「獅子ヶ鼻公園」の初日の出

磐田市×卓球×Tリーグ

詳しくは、スポーツのまち振興課 ☎0538-37-4832 へ

静岡ジェードのホームゲームを市内で開催

2018年から開幕したTリーグ。静岡ジェードは、Tリーグに今シーズン（2023-2024）から参戦することになった静岡市を本拠地とするチームです。

その静岡ジェードの市内初となるホームゲームが磐田市民文化会館「かたりあ」で開催されます。

11月に市長表敬に訪れた森園政崇監督兼選手は「来場者に楽しんでもらえるような演出の仕掛けも考えたいと思います」と話してくれました。きっと、素晴らしいイベントになるはずですよ。

世界的な卓球選手を輩出している磐田市での開催です。ぜひ取材していただければと思います。

【日時】 1月12日（金）18：30～（VS T. T彩たま）

1月13日（土）12：00～（VS 琉球アスティード）

【会場】 磐田市民文化会館「かたりあ」（上新屋 678-1）



煮込んでも焼いてもよし！

寒い時期の料理に大活躍の「白ネギ」が旬を迎えます。ネギには「春ネギ」「夏ネギ」「秋冬ネギ」の3種類がありますが、なかでも磐田市は秋冬ネギの作付面積、収穫量、出荷量ともに県内第1位、収穫量では全国第16位を誇る有数の産地となっています。(出典：農林水産関係市町村別統計 令和3年産 野菜(葉茎菜類) 農林水産省)

秋冬ネギが出荷のピークを迎える12月～3月、磐田市は他の地域と比べて雪が滅多に降らないため、雪の中から掘り起こす必要がなく、安定して出荷することができます。現在、市内には109人の生産者が、約45haもの面積で栽培しています。 ※JA遠州中央白葱部会(市内)の数値

これからの寒い時期に食卓に欠かせない「白ネギ」を、ぜひ取材していただければと思います。



渡り鳥にも人気「桶ヶ谷沼」

「トンボの楽園」だけじゃありません

絶滅危惧種であるベッコウトンボの全国有数の生息地として有名な「トンボの楽園・桶ヶ谷沼」ですが、実は「ある生き物たち」にとっての楽園でもあります。

それは今年も磐田市にやって来た冬の使者コハクチョウをはじめとした「渡り鳥」です。

秋の終わり頃、北の国から多くの渡り鳥が桶ヶ谷沼や鶴ヶ池にやって来て冬を越し、春になって暖かくなると北の国へ戻っていきます。特に多いのは「マガモ」で、オスとメスが一緒に泳いでいるのが見られます。この他にもアカゲラやカワセミなど色鮮やかな鳥を見ることができるかもしれません。

また、桶ヶ谷沼や鶴ヶ池には観察路や観察小屋が整備されています。桶ヶ谷沼の観察路は1周約50分、鶴ヶ池は1周約40分。散歩で健康づくりをしながら、たくさんの自然や鳥の観察を楽しめます。

さまざまな鳥を観察できる桶ヶ谷沼を、ぜひ取材していただければと思います。



▲ 12月9日に飛来したコハクチョウ



▲オス(左) メス(右)